

H30-R3の有田地域の減災に係る 取組方針(第1期)の取組事例

③ 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する事項
 ◆ 排水施設、排水資機材の操作・運用について

取組内容

- 浸水被害の軽減を図るため、初島排水区の雨水管渠の整備・箕島ポンプ場のポンプ増設。また、施設の持続的な機能確保を行うため、老朽化施設の改築を実施。

取組概要



取組内容

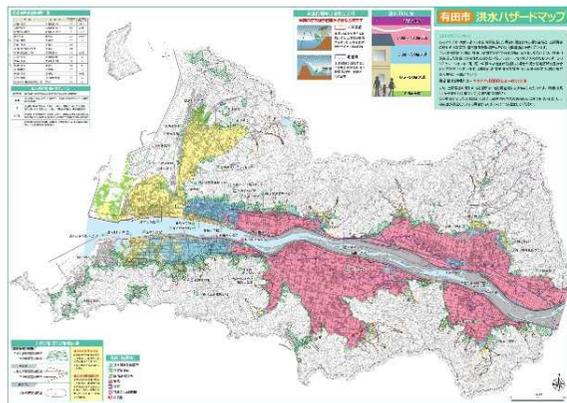
①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ◆避難場所・避難経路について
- ◆避難誘導體制について
- ◆防災に関する啓発活動について

- 想定最大規模の洪水ハザードマップの作成
- 自治会向け「コミュニティタイムライン」講演会の実施
- 民間の避難ビルを活用した避難訓練の実施
- 小中学校と連携した防災学習の実施

取組概要

想定最大規模の洪水ハザードマップの作成



令和3年3月に洪水ハザードマップ【想定最大規模】を作成。電子媒体もHPで公表済。

【 洪水ハザードマップ 】

自治会向け「コミュニティタイムライン」講演会の実施



自治会向けに「大雨・台風から、地域のみんなが安全に避難できるためのコミュニティタイムラインをつくろう」と題して講演会を実施。

【 野地区タイムライン講演会 】

民間の避難ビルを活用した避難訓練の実施



野地区自主防災組織と連携し、地区内の民間企業様のご協力を得て、災害弱者である高齢者を対象とした避難訓練を地域一体となり実施。避難場所の確認や、地区内高齢者が登録している緊急安心カードの効果確認を検証することを目的に訓練を実施した。

【 避難ビルを活用した避難訓練 】

小中学校と連携した防災学習の実施



市内の各学校と連携し、資機材の設置訓練・避難所体験を実施し、防災意識の向上を図った。

【 保田中学校防災学習 】

取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項
◆防災に関する啓発活動について

● 湯浅町防災フェスタの開催【日赤、早稲田、羽衣大学等と連携した防災教育の実施】

取組概要

- 令和元年度は湯浅町民に向けた防災フェスタを開催。早稲田大学、羽衣大学及び日本赤十字看護大学と協力して湯浅中学校や住民の方を交えてのフェスタとなった。
- 住民や湯浅中学校の生徒にさまざまな防災体験してもらいながら防災について考えてもらう目的で実施した。
- 落語家の桂枝曾丸さんをお招きしての「防災落語」や夜の避難訓練を実施した。

今後の計画

- 洪水・土砂災害ハザードマップの作製
- 今後定期的に住民の方を交えての防災活動を実施予定。

当日の主な活動



VR体験や避難所運営ゲームで学び、体験しました。



自主防災組織のみなさんによる炊き出し訓練、湯浅中学校の生徒による非常食試食コーナーを開設しました。

「桂枝曾丸と学ぶもしもの備え」と題し、防災にまつわる落語・絵解き説法をお話しいただきました。



取組内容

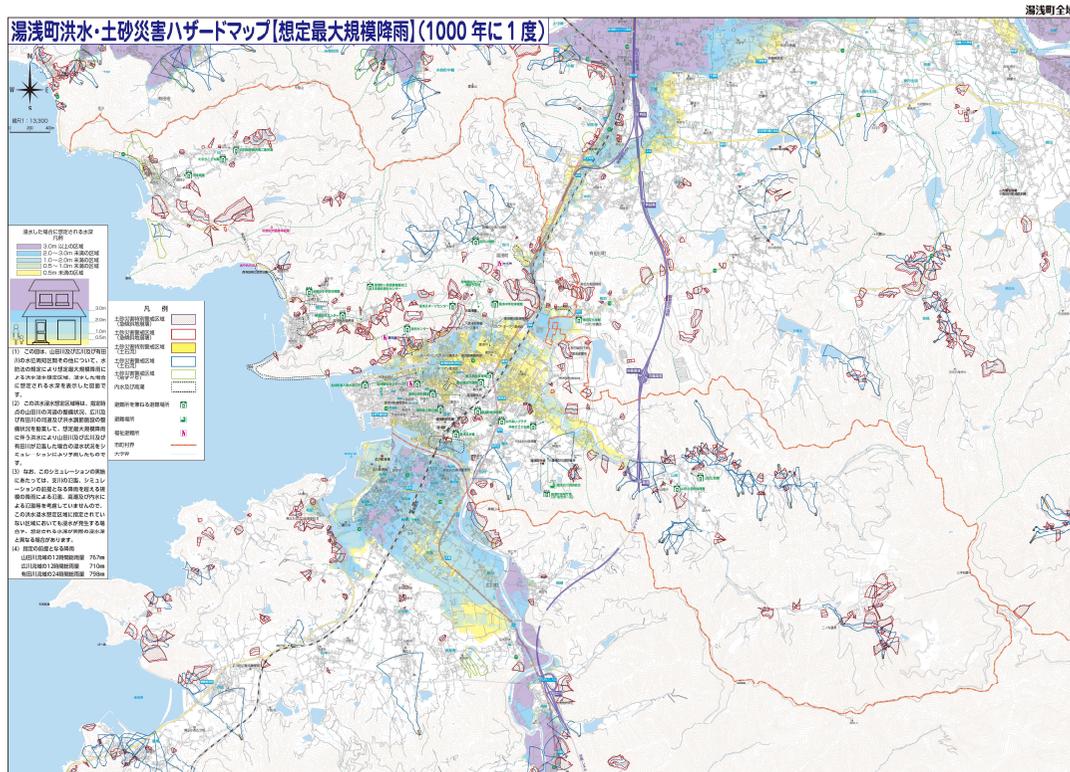
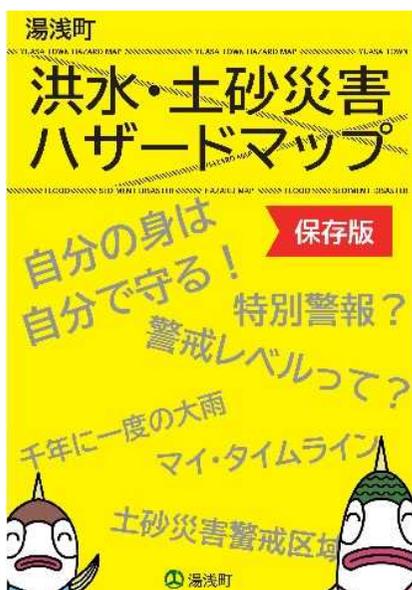
①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ◆避難場所・避難経路について
- ◆避難勧告等の発令について

- ハザードマップの作成・配布 ●住民周知 ●タイムラインの改善

取組概要

- 湯浅町では、令和3年5月に土砂災害と有田川、山田川、広川の想定最大規模降雨に対応したハザードマップを作成・配布
- 湯浅町広報誌において住民への周知を実施。
- 町民の避難行動の一助となるように、マイ・タイムラインを記入できる欄を記載している。



取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ◆避難場所・避難経路について
- ◆防災に関する啓発活動について

●ハザードマップの作成・配布

●避難路の整備

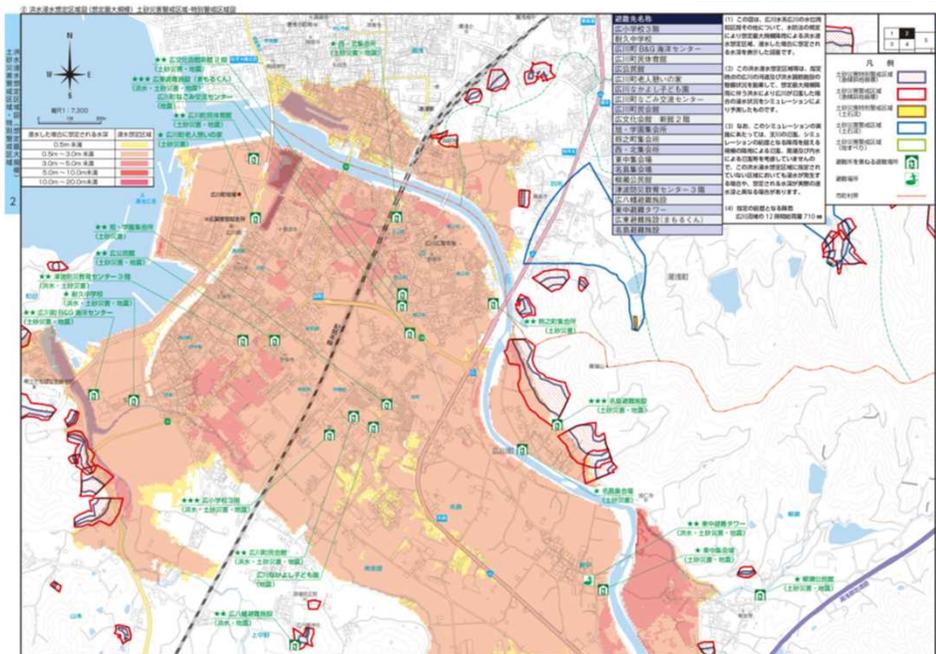
取組概要

- 広川町では、令和3年3月に土砂災害と広川の想定最大規模降雨に対応したハザードマップを作成・配布。
- ワークショップや小学校等の防災教育時に使用している。

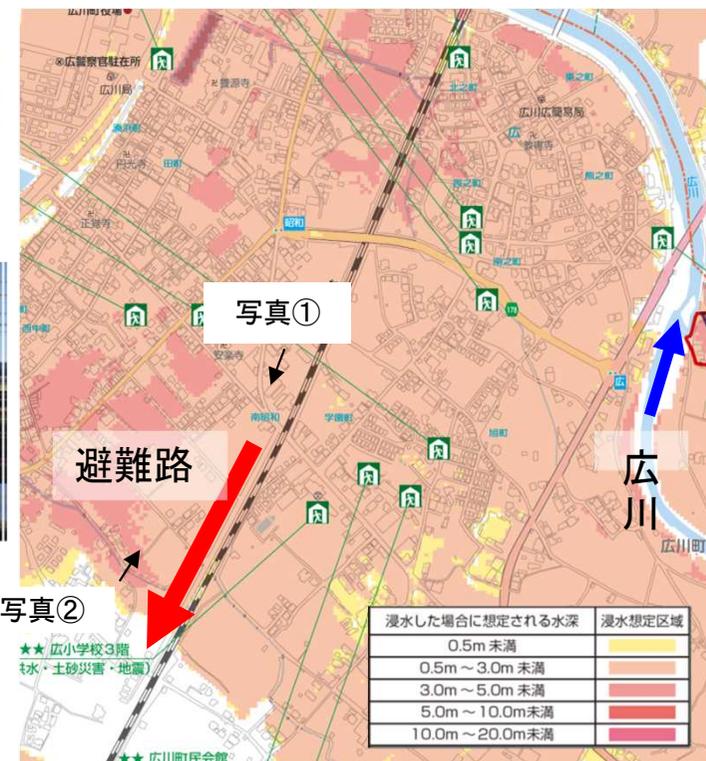


●広川町では、広川の浸水想定区域から避難するための紀勢避難路を整備。

- ・路線名：広西61号線
- ・供用開始：H26年6月4日
- ・延長：414.3m



想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップ



取組内容

- ①情報伝達、避難計画に関する事項
 - ◆住民等への情報伝達体制や方法について ◆防災に関する啓発活動について
- ②水防に関する事項
 - ◆水防体制

- 緊急速報メール、HP、SNS等を活用した情報提供
- 避難対策ワークショップの実施
- 小中学校と連携した防災教育の実施
- 水防資機材の整備【土のう整備】

緊急速報メール、HP、SNS等を活用した情報提供



避難勧告等の発令時に、緊急速報メールやHP、SNSを利用し、わかりやすい情報提供に努めた

小中学校と連携した防災教育の実施



町内の各学校と連携し、避難所宿泊体験や資機材設置訓練、防災知識の講習を通じて防災意識の向上を図った。

名島地区への新避難施設及び消防車庫建設



名島地区への新避難施設及び消防車庫の移設事業。避難施設は川を遡上してくる津波避難対策、消防車庫は浸水域内から高台への移設をし、津波や洪水への対応を強化した。

土のう整備



過去の氾濫実績から、台風等による氾濫が予想される箇所に土のうを配置した。

取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項

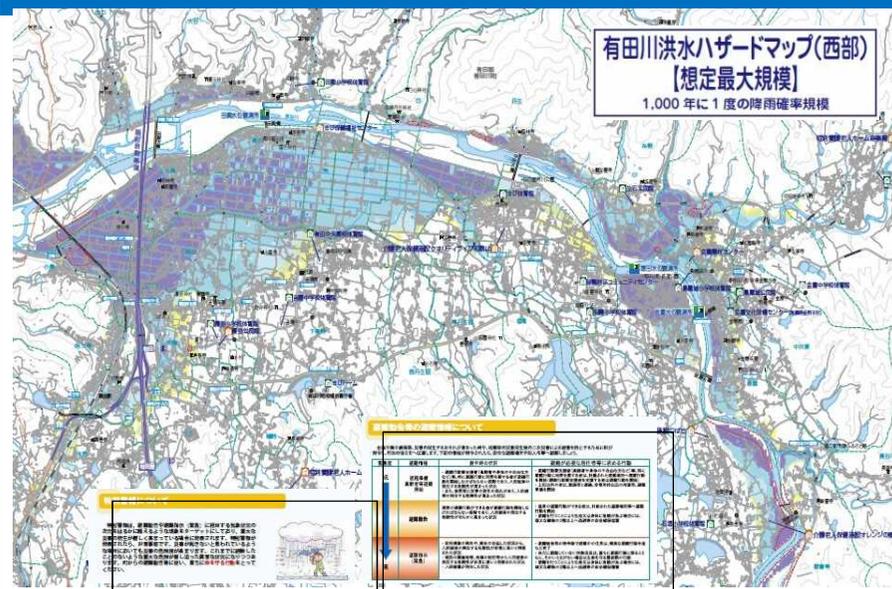
- ◆想定される浸水リスクの周知 ◆避難勧告等の発令について
- ◆住民等への情報伝達体制や方法について ◆防災に関する啓発活動について

②水防に関する事項

- ◆河川水位等の情報提供について ◆水防訓練の実施

- 想定最大規模の洪水ハザードマップの周知 ●タイムラインの策定
- 防災行政無線デジタル化改修事業(平成29年度～令和2年度)
- 自主防災組織研修会等の研修会の実施
- 出前講座等の実施 ●水防訓練の実施

想定最大規模の洪水ハザードマップの周知



平成31年3月18日に有田川洪水ハザードマップ【想定最大規模】を作成し、平成31年4月に町内全世帯に紙媒体で配布済。電子媒体もHPで公表済。

平成の寺子屋事業の実施

令和2年2月8日に有田郡市1市3町及び有田振興局、各消防機関と合同で住民を対象とした水害対策の研修会を実施。西日本豪雨で被災した広島県坂町職員を講師に招き、水害対策の研修を実施した。



自主防災組織研修会の実施

令和元年6月22日、自主防災組織を対象に研修会を実施した。町からは、警戒レベル、想定最大規模洪水ハザードマップ及び避難行動等の啓発及び説明を実施した。



取組内容

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ◆住民等への情報伝達体制や方法について
- ②水防に関する事項
 - ◆河川水位等の情報提供について

●水位情報等の周知(カメラ・水位計の設置、防災アプリ)

取組概要

●有田川町では、町内の7箇所にて河川監視カメラを、有田川の1箇所にて水位計を設置し、町のホームページやアプリ(ありがたわ防災・行政ナビ)により、住民への情報提供を行い、住民避難の体制を強化させている。

○河川監視カメラ(7箇所):有田川(清水地内)、早月谷川中流・下流、鳥尾川、天満川中流・下流、熊井川

○河川水位計設置(1箇所):有田川(川口地内)

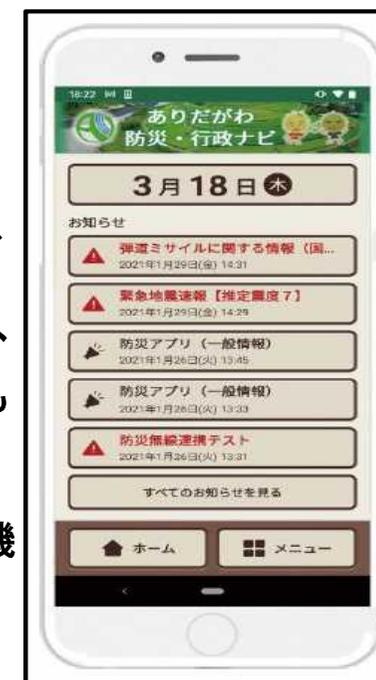
河川カメラ(7箇所)・水位計(1箇所)の設置



ありがたわ防災・行政ナビ

有田川町公式のスマートフォンアプリを開発。

防災行政無線放送内容を受信できるほか、各種ハザードマップや防災マップ、広報誌、行政情報も掲載しており、平常時も役立つ様々な機能を備えている。



取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項

■想定される浸水リスクの周知

・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

●想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

取組概要

【目的】

○想定を超える洪水氾濫が発生するなか、計画や施設能力を上回る洪水氾濫に対し、人命を守るなど被害の軽減を図ることを目的として、想定し得る最大規模降雨による洪水を想定し、住民の安全な避難行動、災害拠点の機能確保などを推進するもの。(平成27年水防法改正)

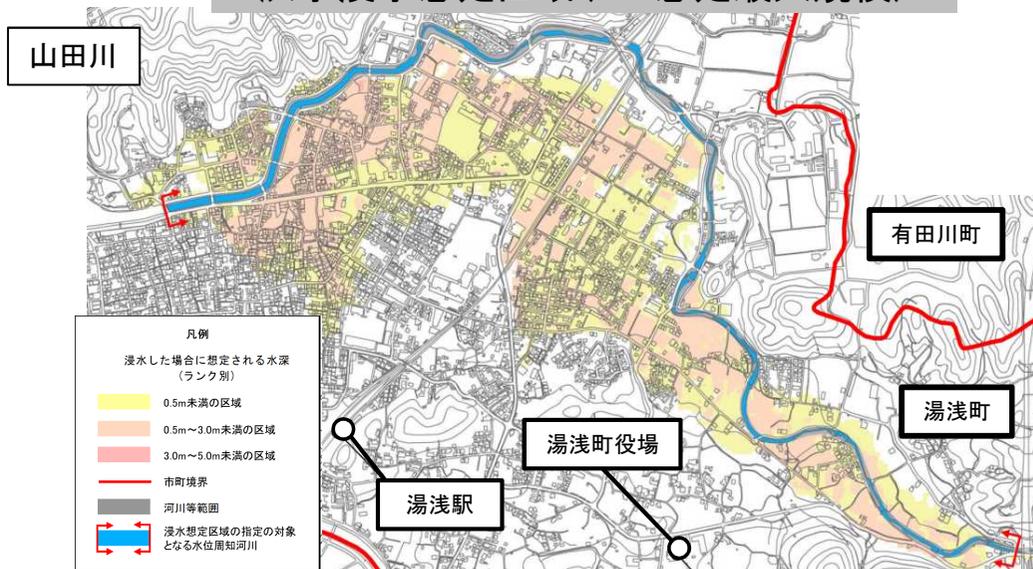
【公表時期】

○有田川は平成31年2月に公表。山田川、広川は令和2年2月に公表。

【ハザードマップ】

○関係市町においては、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成。

洪水浸水想定区域(L2:想定最大規模)



洪水浸水想定区域(L2:想定最大規模)

